



文化交渉学のベースベクタイプ

2007年度、文部科学省グローバルCOEとして「東アジア文化交渉学の研究拠点形成」プログラムが採択され、これにより設けられた「文化交渉学教育研究拠点」(ICIS, Institute for Cultural Interaction Studies)は5年間にわたり高度な教育・研究プログラムを推進することで、事後評価において4段階のうち最高の評価を得ました。

「文化交渉学研究拠点」(ICIS)は、このグローバルCOEの研究活動を継続的に発展させるため2012年度、東西学術研究所内に設置されたもので、3つの研究班が多彩な学術活動を進めています。

これら3研究班が合同で国際シンポジウムを開催し、文化交渉学をめぐる研究成果と展望を発信します。

7/18 (土) 13:00~17:30

- 近世近代日中文化交渉 (日中移動伝播研究) 班
東アジア圏における伝統と近代化
- 東アジア宗教儀礼研究班 (1部)
泊園書院研究

7/19 (日) 9:30~16:30

- 言語接触研究班
文化交渉学と言語接触研究
- 東アジア宗教儀礼研究班 (2部)
文化交渉と東アジアの宗教・思想

関西大学千里山キャンパス
以文館 4階
セミナースペース

ACCESS



- 聴講自由・事前申込不要
- 発表言語：日本語・中国語

文化交渉学のパーспекティブ



Program

●7/18 (土) 13:00~17:30

1) 近世近代日中文化交渉 (日中移動伝播研究) 班 13:00~16:00

テーマ 東アジア圏における伝統と近代化

発表者 王青 (中国社会科学院哲学研究所研究員・中華日本哲学会副会長) 「近代日本と近代中国におけるイプセン主義の受容」
高橋文博 (就実大学教授) 「主従道徳と近代日本」
中谷伸生 (研究員・文学部教授) 「木村蒹葭堂の文人趣味と文化交渉」
藤田高夫 (研究員・文学部教授) 「林泰輔の中国上代研究—伝統漢学から近代中国学への展開」
高橋沙希 (非常勤研究員) 「明治洋画界における青木繁」

司会 井上克人 (主幹・文学部教授)

コメンテータ 陶徳民 (研究員・文学部教授)

2) 東アジア宗教儀礼研究班 (1部) 16:20~17:30

テーマ 泊園書院研究

発表者 吾妻重二 (研究員・文学部教授) 「近代学制のなかの泊園書院」
横山俊一郎 (非常勤研究員) 「泊園書院の教育と明治・大正期の実業家」

司会 二階堂善弘 (研究員・文学部教授)

コメンテータ 中谷伸生 (研究員・文学部教授)

●7/19 (日) 9:30~16:30

3) 言語接触研究班 9:30~12:30

テーマ 文化交渉学と言語接触研究

発表者 鄒振環 (復旦大学歴史系教授) 「マテオリッチの世界地図の刊行と伝播」
内田慶市 (主幹・外国語学部教授) 「周縁資料による中国言語学研究の過去・現在・未来—文化交渉学の視点から」
沈国威 (研究員・外国語学部教授) 「近代訳語はどう創られたのか」
乾善彦 (研究員・文学部教授) 「漢文訓読という言語接触」

司会 奥村佳代子 (研究員・外国語学部教授)

コメンテータ 陳力衛 (委嘱研究員・成城大学経済学部教授)

4) 東アジア宗教儀礼研究班 (2部) 13:30~16:30

テーマ 文化交渉と東アジアの宗教・思想

発表者 三浦國雄 (委嘱研究員・四川大学教授) 「『北斗本命延生経』徐道齡注の諸問題」
二階堂善弘 (研究員・文学部教授) 「日中寺院における伽藍神の探求」
西本昌弘 (研究員・文学部教授) 「日中交渉史のなかの杭州水心寺」
鈴木章伯 (非常勤研究員) 「梁漱溟における社会主義から仏教への転向」
佐藤トウイウエン (非常勤研究員) 「ベトナムにおける「家訓」文献」

司会 原田正俊 (主幹・文学部教授)

コメンテータ 吾妻重二 (研究員・文学部教授)